

ファツィオリ・オンライン・コンクールの演奏者の皆様、並びに審査員の皆様、ご参加ありがとうございました。私はコンクール・システムの方でお手伝いをさせていただきました、飯坂と申します。

オンラインコンクールができないかと、話が浮かび上がったのは確かもう3年前のことでした。オンラインコンクールは、いくつかの国際音楽コンクールでオンライン聴衆賞があること以外前例は少なく、このようなコンクールで一般の方々から審査員を募ることは、ほぼ初めてかもしれないということでした。

しかしながら、数多くの演奏者としての参加者、そしてより大勢の審査員としての参加者、その上に私以外のアドバイザーの方々からの指導により今日までに至ることです。

私もアドバイザーとして第一次予選より、昨日の本選まで、全ての演奏を聴いてまいりましたが、選曲の幅の広さには驚愕。バッハ、ベートーヴェン、ショパンなどの有名曲はもちろん、カプスティン、上原ひろみなどのジャズからの影響が濃い曲まで聴くことにより、ピアノ曲の歴史の豊かさを感じさせられました。

しかし、自由選択曲の演奏を比較するのは難しいのではないかと、特に必ずしも専門家ではない審査員が公正な審査ができるのか、という疑問はありました。しかし第一予選、第二予選、そして昨日の本選の投票データの統計解析によると、非常に質の高い審査結果であったと言う事でした。このコンクールを通して一つ学んだ事、と言えば、音楽は人々の心に何かを訴えることであり、それは誰でも感じる事ができるものである、と言うことが審査結果によって証明されたものであるかと思われます。

これから受賞者の発表になりますが、個人的には参加者の皆様、非常に生き生きとした演奏をされて、普通のコンクールではまず経験できない楽しさがあったかと思われます。

参加者の皆様、ありがとうございました。

飯坂健（IT スペシャリスト）アドバイザー メッセージ